

即時リリース用

新サービス「米国発電所投資の資産管理モニタリングサービス」提供開始

スキッピングストーンとスコービル・リスクパートナーズが業務提携

東京 - 2019年7月17日 - エネルギー分野専門にコンサルティングやテクノロジーサービスを提供するコンサルティング会社スキッピングストーンは、米国独立系統運用機関（ISO）管理下の全卸電力市場にて提供する新規サービス、米国発電所投資の資産管理モニタリングサービスの提供を開始いたしました。

近年、日本企業による米国の発電事業への参画が活発化しています。主に、発電所の事業運営にノンオペレーターとして関与し、開発事業者の事業予測を基に投資収益率を予測し事業投資を行うケースが多い中、実際は卸電力市場での価格変動などプロジェクト期間中に起こり得る様々な理由により、収益予測と実績値に差異が生じることが少なくありません。特に、長期継続供給契約を交わしていない発電事業プロジェクトに、このようなケースが多く見られます。

実際のパフォーマンスが投資開始時の見込み収益率を下回った場合など、出資者を含めた各種ステークホルダーへ説明責任を十分に果たすために必要な、米国の電力・ガス市場の複雑な市場構造等に関する専門知識やノウハウを持たない投資企業も少なくありません。プロジェクトオーナーである開発事業者がパフォーマンス指標や、目標未達の原因などの報告義務を果たしていたとしても、出資者・各種ステークホルダーが納得することが難しい場合もあります。今回提供を開始するモニタリングサービスでは、第三者機関によるパフォーマンスの検証および業績評価指標の分析により、パフォーマンスを客観的に評価・分析し報告いたします。

これまで事業投資を行っている企業に向けモニタリングサービスを提供してきた両社の長年の経験を活かし、スキッピングストーンはスコービル・リスクパートナーズと連携し、新規サービスを通じて日本のお客様への支援を強化してまいります。

スキッピングストーンの会長兼 CEO ピーター・ウェイガンドは次のように述べています。「本モニタリングサービスでは、ただ単に実績の報告と分析結果を提供することではなく、不測の事態になった原因や因果関係、更にはどのような結果になるべきであったかの詳細説明を出資者やステークホルダーが納得できる形で提供いたします。また、市場を熟知した私たちが米国市場に特化した質問や詳細説明を投資家の皆様がオペレーターに確認できる様お手伝いいたします。」

続いてスコービルのマネージング・パートナー、グレン・スウィンドルは次のように述べています。「弊社独自のソフトウェアが発電資産から運用データを直接収集し、当該発電施設の所在地に基づき、複雑に入り組んだ市場価格動向をモニターします。想定外の操業パフォーマンスの原因特定や、予測財務諸表と大きく異なる数値などを簡単に掌握することで、投資家の皆様が開発事業者や彼らの外部委託先に対する問題提起などのお手伝いをいたします。」

スキッピングストーンについて

スキッピングストーンは、エネルギー市場の変化への対応、ビジネスチャンスへの投資、リスク管理などに関するコンサルティングを通じクライアントをサポートする、エネルギー分野専門のコンサルティング会社です。市場性評価、戦略の策定と実行、海外市場への参入支援、M&A・事業継承支援などのサービスを提供しています。スキッピングストーンは世界 50 ヶ国以上で、天然ガス、電力、デマンドレスポンス、エネルギー関連技術、再生可能エネルギー、分散型電源などのエネルギー産業にフォーカスしたプロジェクトに携わっています。子会社のキャパシティセンターは、米国内唯一のガスパイプラインの容量取引や流路の情報を提供するサービス会社です。ボストンに本社を置き、東京、アトランタ、ヒューストン、ロサンゼルス、ロンドンにオフィスを構えています。詳しくはホームページをご覧ください。

日本語： www.SkippingStone.co.jp、英語： www.SkippingStone.com

メディア連絡先

スキッピングストーン合同会社

Japan_info@skippingstone.com

TEL： 03-5521-1070